

令和2年9月8日

三鷹市連雀地域包括支援センターに相談をされた皆様へ

当センターでは、癌末期の患者様の在宅での療養支援に関する研究を行っています。案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者に当たると思われる方で、ご質問がある場合又は、この研究に「自分の情報を使って欲しくない」という場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、研究への協力を希望されない場合は、いつでも拒否ができ、そのために不利益を被ることはありません。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから相談者様の情報を削除できない場合がありますので、ご了承下さい。解析期間は2020年9月末までを予定しております。

研究課題名	末期癌患者へのサービス導入時におけるより良い在宅療養支援とは何か ～地域包括支援センターにおける相談対応の課題整理と対策～
研究担当者	高島 裕美 中井 弘子 保谷 知美 本多 恵利
研究の目的	癌の進行に伴い急激に病状変化が起こる末期癌患者は、早期から在宅支援チームをつくる必要があると考えられており、センターでは、介護支援専門員や介護保険サービスの説明を行っているが、サービス利用につながらないケースがしばしばある。また終末期のケアマネジメントは、急変時の対応や多職種との連携など、マネジメントの難易度が高いが、報酬加算は少ないため、介護支援専門員に引き継げない制度上の課題も含んでいる。在宅療養支援の導入窓口であるセンターの役割、課題についての先行研究は見当たらず、センターの機能の限界と、周辺機関の機能、制度の課題を明らかにし、相談援助に生かしていく。
対象者	2019年4月～2020年3月の間に、当地域包括支援センターに癌末期での在宅療養を相談された方
使用する情報	性別、年齢、世帯状況、介護保険認定区分、相談の紹介元、介護支援専門員への紹介の有無、支援継続の有無
個人情報保護について	この研究で使用するために得られたデータは、個人情報を削除し、個人を特定できないようにした上で厳重に管理致します。この研究のデータが研究目的以外で使用されることはありません。
お問い合わせ先	三鷹市連雀地域包括支援センター 電話：0422-40-2635 受付時間：月～土曜日 9：00～17：00（日・祝祭日を除く）
備考	この研究は野村病院学会での報告を予定しています。 また、研究から得られた結果は、センター事業の委託元である三鷹市への報告、関係機関との課題共有のために活用します。